

## 〈参考〉 質問票および単純集計結果

### 全員の方におうかがいします。

#### 問1 [生命保険の加入状況]

あなたが**被保険者**（保険がかけられている方）として加入されている生命保険について、これからお尋ねします。

1-1 あなたが加入されている生命保険は次の中のどれとどれですか。

- (注1) 生命保険の加入の有無、加入件数をお答えいただく場合は、主たる被保険者として加入されているものだけをお答えください。
- (注2) 本人が掛金を負担している民間の生命保険会社の団体定期保険（グループ保険）、J A（農協）の団体定期生命共済、こくみん共済coop（全労済）の団体生命共済なども含めてお答えください。
- (注3) 火災保険（共済）や自動車保険（共済）等の損害保険（損害共済）、並びに財形年金（積立）保険、財形住宅貯蓄積立保険、財形貯蓄積立保険などは除いてお考えください。
- (注4) かんぽ生命は、平成19（2007）年10月簡易保険が民営化され誕生しました。かんぽ生命の保険は引き続き郵便局並びにかんぽ生命で販売されています。
- (注5) 「生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済」には、以下の商品があります。
  - ① 全国生活協同組合連合会が取り扱う「県民共済」（地域によっては「都民共済」「府民共済」「道民共済」「全国共済」と名称されています）
  - ② 日本コープ共済生活協同組合連合会（ニコープ共済連）[旧 日本生活協同組合連合会] が取り扱う「CO・OP 共済」
  - ③ 全国労働者共済生活協同組合連合会（ニこくみん共済coop）が取り扱う「こくみん共済」「ねんきん共済」「団体生命共済」等

加入されている生命保険の種類を次の1～6のうちからお答えください。

加入されている場合は加入件数もお答えください。

N:2,200

1	民間の生命保険会社の生命保険（個人年金保険を含む）	36.1%	→		件	1.7件
2	平成19（2007）年10月1日以降に加入した、かんぽ生命の生命保険（個人年金保険を含む）	4.5%	→		件	1.3件
3	郵便局の簡易保険（年金保険を含む） *平成19（2007）年10月1日以降に加入したかんぽ生命を除く	3.4%	→		件	1.1件
4	J A（農協）の生命共済（年金共済を含む）	3.1%	→		件	1.3件
5	生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済（年金共済を含む）	10.6%	→		件	1.1件
6	上記のどれにも加入していない	54.4%	→	1-2へおすすみください		

N:1,197

（1-1で「6」（上記のどれにも加入していない）と回答された方におうかがいします。）

1-2 あなたが現在、民間の生命保険会社、かんぽ生命、郵便局、J A（農協）、生協、こくみん共済coop（全労済）の生命保険（個人年金保険を含む）に加入されていないのは、どういった理由からですか。

1 経済的余裕がないので	38.5%	8 期間が長すぎるので	1.5%
2 現時点では生命保険の必要性をあまり感じていないので	24.7%	9 インフレに弱いから	1.5%
3 将来への不安があまりないので	3.9%	10 生命保険や営業職員が嫌いなので	3.3%
4 健康上の理由や年齢制限のため加入できないので	3.3%	11 生命保険についてよくわからないので	8.3%
5 ほかの貯蓄方法のほうが有利だと思うので	7.6%	12 その他（具体的に：）	3.2%
6 厚生年金など国の社会保障を期待しているため	1.8%	13 特に理由はない	31.2%
7 退職金や企業年金など会社の保障を期待しているため	0.6%		

問8へおすすみください

問2 [民間の生命保険の加入金額等]

問1で「民間の生命保険会社の生命保険（個人年金保険を含む）に加入」と回答された方におうかがいします。

平成19（2007）年10月1日以降に加入したかんぽ生命を除いてお答えください。

（財形年金（積立）保険、財形住宅貯蓄積立保険、財形貯蓄積立保険は除いてお答えください。）

加入されていない場合は、問3（9ページ）へおすすみください。

2-1 あなたは、いくらぐらい民間の生命保険会社の生命保険に被保険者として加入されていますか。

（注）本人が掛金を負担している団体定期保険（グループ保険）を含めてお答えください。

現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。

（注）死亡保険金を年金で受け取る契約や特約に加入されている場合には、総受け取り金額（年金年額×受取年数）をお答えください。なおこの場合、老後等に支払われる通常の年金は含まれません。

（注）死亡保険金が出ない保険にのみ加入されている場合は0を記入してください。

N:795

死亡保険金額

万円

911万円

不明 30.1%

2-2 あなたは、病気で入院された場合に民間の生命保険会社の生命保険からお受け取りになれる疾病入院給付金は、1日または1回につき、いくらになりますか。（日額タイプの場合は1日あたりの金額、一時金タイプの場合は1回あたりの金額をご記入ください。日額・一時金いずれのタイプにも加入されている場合には1日あたり金額と1回あたりの金額の両方についてご記入ください。）

（注）ガン、生活習慣病等の特定の疾病だけを対象とした入院のみに限定して支払われる入院給付金は除いてお答えください。

（注）入院給付金が出ない保険にのみ加入されている場合は「0」を記入してください。

N:795

1日につき

円

8.7千円

不明 26.5%

または

N:121

1回につき

円

8.0万円

不明 0.0%

2-3 あなたは、被保険者として以下にあげられるような保障機能を持つ民間の生命保険会社の生命保険や特約に加入されていますか。加入の有無をお答えください。

(注) 取り扱う生命保険会社によって、保険や特約の名称や、対象となる疾病、損傷、治療、症状が若干異なります。

N: 795

1	67.2%	「医療保険」「医療特約」 病気やケガで入院したり、所定の手術を受けたときに、給付金が受け取れるもの。
2	39.1%	「ガン保険」「ガン特約」 ガンで入院したときに入院給付金が受け取れるもの。ガン以外の疾病（脳血管疾患、心疾患、高血圧性疾患、糖尿病）で入院したときでも入院給付金が受け取れる「生活習慣病（成人病）特約」は除いてお答えください。
3	18.5%	「特定疾病保障保険」「特定疾病保障特約」 ガン、急性心筋梗塞、脳卒中の3大疾病により所定の状態になったとき、生前に死亡保険金と同額の特定疾病保険金が受け取れるもの。保険期間が一定期間の定期型と、一生涯の終身型があります。
4	22.1%	「先進医療特約」 所定の先進医療による療養を受けたときに、給付金や一時金が受け取れるもの。
5	3.5%	「特定損傷特約」 不慮の事故により骨折、関節脱臼、腱の断裂の治療をしたとき、給付金が受け取れるもの。
6	1.4%	「疾病障害特約」「重度慢性疾患保障特約」 心臓ペースメーカー、人工透析、人工肛門などの所定の治療を受けた場合、または高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、肝硬変などの特定の慢性病により特定の症状となったと判断された場合、一時金が受け取れるもの。
7	1.8%	「認知症保険」「認知症特約」 所定の認知症になったときに、一時金や年金が受け取れるもの。寝たきり等の認知症以外で介護の必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに一時金や年金が受け取れる「介護保険（介護特約）」は除いてお答えください。
8	6.8%	「介護保険」「介護特約」 寝たきりや認知症によって介護が必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに、一時金や年金が受け取れるもの。
9	10.3%	「通院特約」 疾病・災害入院給付金の支払事由に該当する入院をし、退院後所定の期間内にその治療を目的として通院したときに、通院日数分の給付金が受け取れるもの。特定の疾病を対象に支払われるものも含めてお答えください。
10	3.1%	「生活障害・就業不能保障保険」「生活障害・就業不能保障特約」 病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れるもの。
11	2.1%	「健康増進型保険」「健康増進型特約」 健康増進による取組により、「保険料」への影響があるもの。（キャッシュバック等）があるものを含む
12	16.4%	「特になし」

不明 7.9%

▶（「ガン保険」「ガン特約」に回答された方におうかがいします。）

付問1 ガンで入院された場合にお受け取りになれる「ガン保険やガン特約」による入院給付金は、1日につき、いくらになりますか。診断時の一時金やガン以外の疾病により支払われる入院給付金は除いてお答えください。

N:311 ガン入院給付金の日額  円 11.1千円

▶（「介護保険」「介護特約」に回答された方におうかがいします。）

付問2 寝たきりや認知症によって介護が必要な状態となり、その状態が一定期間継続した場合にお受け取りになれる「介護保険や介護特約」による給付金は、ひと月あたり、いくらになりますか。診断時の一時金や介護以外により支払われる給付金は除いてお答えください。

N:54 介護給付金の月額  円 5.2万円

2-4 あなたは、被保険者として外貨建ての生命保険に加入されていますか。

N: 795

1	2	不明
加入している	加入していない	
14.6%	77.5%	7.9%

2-5 1年間に払い込まれる民間の生命保険会社の生命保険の掛金（保険料）は、いくらになりますか。  
 (注) 「一時払契約」「頭金制度」および「払込が完了している契約」の掛金は含めず、払込が発生していない契約のみに加入されている場合は0を記入してください。  
 また、配当金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N:795

年間払込掛金総額  円 15.3万円 不明 32.7%

2-6 あなたが被保険者として加入されている民間の生命保険会社の数は何社ですか。

N:652

(保険会社数)  社 1.5社

2-7 あなたが被保険者として加入されている民間の生命保険会社の生命保険で、一番最近加入されたのはいつでしたか。

下取り制度（転換制度）を利用して、新しい生命保険に加入されたものも含めてお考えください。

(注) 下取り制度（転換制度）とは、既に入加入されていた生命保険をもとにして保険種類、保険金額などを新しい内容の生命保険に変更する制度です。

N:795

1	2	3	4	5	6	7	8	
令和6年 (2024年)	令和5年 (2023年)	令和4年 (2022年)	令和3年 (2021年)	令和2年 (2020年)	令和元年 (2019年)	平成30年 (2018年)	忘れた 以前	不明
2.6%	7.2%	7.8%	5.2%	4.3%	3.4%	43.5%	18.1%	7.9%

問3へおすすみください

(2-7で「平成30年(2018年)以前」を選んだ方におうかがいします。)

付問1 加入年をお答えください。

西暦  年に加入

2-8 その契約は新しく加入されたものですか。または下取り制度（転換制度）を利用して加入されたものですか。

N:242

1	新規に加入	77.7%
2	下取り制度（転換制度）を利用して加入	10.7%
3	これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入	11.6%

2-9 その生命保険の加入を最終的に決められたのはどなたですか。

N:242

1	2	3	4	5
わたし	配偶者	夫婦や家族で相談	子ども	その他（具体的に： )
97.9%	0.0%	1.7%	0.0%	0.4%

2-10 その生命保険の掛金の払込方法は、加入時に掛金を全額支払う「一時払」でしたか、掛金を月・年・年ごとに支払う方法ですか、それとも「月・半年・年ごとの支払いは完了」していますか。

N:242

1	2	3
一時払にした	月・半年・年ごとに支払っている	月・半年・年ごとの支払いは完了した
24.4%	71.1%	4.5%

付問1 1年間に払い込む掛金は全部でいくらになりますか。

N:172

円 13.7万円 不明 25.6%

付問2 一時払をした掛金はいくらでしたか。

N:59

	万円	1,927万円	不明	28.8%
--	----	---------	----	-------

2-11 その保険はどのような種類の保険ですか。下記のいずれかをお選びください。

N:242

(注) 保険種類の名称は、保険証券やパンフレットなどに記載されています。

生命 保 険	1 終身保険 (一時払終身保険を含む)	26.0%	死亡した場合の保障が、一定の額で一生継続のもの(満期保険金はない)
	2 定期保険	8.3%	保険期間が一定で、その間に死亡した場合のみ死亡保険金が受け取れるもの(保険料は掛け捨てで満期保険金はない)
	3 定期付終身保険	2.9%	死亡した場合の保障が一生継続し、一定年齢まではより多額の保障を受けられるもの(定期保険と終身保険を組み合わせた保険)
	4 利率変動型積立終身保険 (アカウト型)	0.4%	保険料払込期間中に積立金を蓄積し、払込満了時に積立金をもとに終身保険に移行するもの (保険料は積立部分と保障部分に区分され、その内訳は自由に設定・変更できる。予定利率は一定期間ごとに見直される)
	5 養老保険 (定期付養老保険、一時払 養老保険を含む)	4.5%	保険期間は一定で、その間に死亡したときには死亡保険金が、満期時に生存していたときには満期保険金が受け取れるもの(死亡保険金と満期保険金は同額)
	6 医療保険(有期型)	14.5%	病気やケガで入院したり、所定の手術を受けたときに、給付金が受け取れるもの(一定の保険期間を定めた定期タイプ)
	7 医療保険(終身型)	14.1%	病気やケガで入院したり、所定の手術を受けたときに、給付金が受け取れるもの(一生保障の終身タイプ)
	8 ガン保険	8.3%	ガンにより入院したり、所定の手術をしたときに、給付金が受け取れるもの(一定の保険期間を定めた定期タイプと一生保障の終身タイプがある)
	9 介護保険	2.1%	寝たきりや認知症によって介護が必要な状態になり、その状態が一定の期間継続したときに、一時金や年金が受け取れるもの
	10 変額保険	0.8%	株式や債券を中心に資産を運用し、その運用実績によって保険金や解約返戻金が増減するもので、投資リスクは契約者が負う(保険期間が一定の有期型と一生保障が継続する終身型がある)
	11 生活障害・就業不能保障保険	0.8%	病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れるもの。
	12 その他	3.7%	上記以外の生命保険
個人 年 金 保 険	13 個人年金保険(定額)	10.3%	老後の年金の受け取りを目的とし、契約時に定めた一定の年齢から受け取れるもの(給付期間は一定の期間を定めたタイプと終身タイプがある)
	14 変額個人年金保険	3.3%	株式や債券を中心に資産を運用し、その運用の実績によって年金や解約返戻金などが増減する個人年金保険。投資リスクは契約者が負う(給付期間は一定の期間を定めたタイプと終身タイプがある)

2-12 その生命保険の加入を検討するにあたって、どのようなところから情報を得ましたか。

N:242

1	生命保険会社の営業職員（かんぽ生命を除く）	40.5%	11	生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関	1.2%
2	生命保険会社の窓口	6.6%	12	テレビ・新聞・雑誌・書籍など	4.1%
3	郵便局の窓口や営業職員	3.7%	13	決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料	0.0%
4	銀行・証券会社の窓口や営業職員	12.4%	14	商品カタログ・パンフレット	6.6%
5	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	8.7%	15	ダイレクトメール（郵便など）	1.7%
6	保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口	8.7%	16	その会社や代理店のホームページ	8.3%
7	家族・親類	6.6%	17	生命保険の比較サイトなど生命保険に関する情報を提供しているホームページ	7.0%
8	友人・知人	7.9%	18	その他（具体的に： )	1.7%
9	職場の同僚・上司	0.8%			
10	ファイナンシャル・プランナー（FP）や税理士・公認会計士	8.3%			

2-13 その生命保険の加入を検討するにあたって、他の生命保険会社の商品や他の金融商品と比較しましたか。

N:242

1	他の民間の生命保険会社の生命保険（かんぽ生命を除く）	33.1%	4	生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済	5.8%
2	かんぽ生命	9.5%	5	生命保険以外の金融商品（損害保険や預貯金、公社債、株式等）	1.7%
3	J A（農協）の生命共済	4.5%	6	特に比較はしなかった	58.3%

2-14 その生命保険に加入された主な理由はどういうことですか。

N:242

1	希望にあった生命保険だったので	41.3%
2	従来なかったような新しい生命保険だったので	9.5%
3	掛金が安かったので	17.8%
4	民間の生命保険会社の生命保険、個人年金保険は利回りがいいから	9.5%
5	加入後のサービスがよいと思ったので	6.2%
6	営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので	16.9%
7	営業職員や代理店の人が知り合いだったので	7.4%
8	以前から加入していた営業職員や代理店の人にすすめられたので	6.2%
9	営業職員がFPの資格を持つなど、専門性を有していたので	3.3%
10	通信販売やインターネットなどにより、手続きが簡単にできたので	5.0%
11	テレビ、新聞、雑誌などで、しばしば見聞きしている会社なので	2.5%
12	以前加入したことがある会社だったので	5.8%
13	健全な経営をしている会社だったので	8.3%
14	家族、友人、知人などにすすめられたので	9.5%
15	その他（具体的に： )	3.3%

2-15 その生命保険は、主としてどういう目的で加入されましたか。

N:242

1	万一のときの家族の生活保障のため	22.7%	8	子どもの教育、結婚資金のため	0.8%
2	万一のときの葬式代のため	16.5%	9	相続および相続税の支払を考えて	6.6%
3	医療費や入院費のため	50.4%	10	財産づくりのため	7.0%
4	万一のときのローンや債務の返済のため	4.5%	11	土地、家屋の取得、増改築のため	0.4%
5	災害、交通事故などにそなえて	3.3%	12	貯蓄のため	12.8%
6	老後の生活資金のため	16.1%	13	税金が安くなるので	8.3%
7	介護費用のため	4.5%	14	その他(具体的に: )	0.4%

2-16 その生命保険は、どのような方法で加入(契約を締結)されましたか。

N:242

1	家庭に来る生命保険会社の営業職員	26.4%
2	職場に来る生命保険会社の営業職員	13.6%
3	通信販売(インターネットを通じて)	12.0%
4	通信販売(テレビ・新聞・雑誌などを通じて)	1.7%
5	生命保険会社の窓口	8.7%
6	郵便局の窓口や営業職員	2.5%
7	都市銀行の窓口や銀行員(ゆうちょ銀行を含む)	6.6%
8	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	3.3%
9	信託銀行の窓口や銀行員	2.9%
10	証券会社の窓口や営業職員	1.2%
11	保険代理店(金融機関を除く保険ショップ等)の窓口	10.3%
12	保険代理店(金融機関を除く)の営業職員	5.4%
13	勤め先や労働組合等を通じて	0.4%
14	その他(具体的に: )	5.0%

2-17 その加入先について、現在どのような点に満足していらっしゃいますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。

N:242

1	定期的な訪問がある	16.9%
2	マナー・態度が良い	19.8%
3	商品知識や保障見直しの提案力が良い	14.1%
4	保障内容の説明や手続きの対応が良い	18.6%
5	相談に迅速に対応してくれる	21.1%
6	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	10.3%
7	サービス品の提供やイベント招待がある	4.1%
8	手間がかからない	29.8%
9	加入先(保険会社・販売会社等)や担当者からのアフターフォローがある	5.8%
10	その他(具体的に: )	1.2%
11	特に満足している点はない	21.5%

2-18 それでは、その加入先について、現在どの程度満足なさっていますか。

N:242

1	2	3	4
満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
28.9%	60.3%	8.3%	2.5%

2-19 その生命保険商品について、現在どのような点に満足していらっしゃいますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。

N:242

1	保障の範囲が広い	16.5%
2	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている	30.6%
3	契約の途中で内容を自由に変更できる	9.9%
4	保障内容に比べ掛金が安い	17.8%
5	契約者貸付が利用できる	5.0%
6	保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい	18.6%
7	話題性のある商品である	3.3%
8	保障と貯蓄を兼ねている	14.1%
9	利回りが他の金融商品に比べて有利	5.8%
10	配当金が期待できる	2.9%
11	税制上のメリットがある	8.7%
12	申込手続き、告知や診査の利便性が高い	4.5%
13	付帯サービス(※)が充実している	0.4%
14	その他(具体的に: )	0.4%
15	特に満足している点はない	10.7%

(※) 付帯サービスとは、健康・医療に関する情報提供や人間ドックの優待、スポーツクラブ・レジャー施設の優待利用等のサービスを指す。

2-20 それでは、その生命保険商品について、現在どの程度満足なさっていますか。

N:242

1	2	3	4
満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
28.1%	62.0%	7.4%	2.5%

2-21 その生命保険会社の商品やサービス全般について、現在どの程度満足なさっていますか。

N:242

1	2	3	4
満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
26.9%	62.0%	9.1%	2.1%

2-22 その生命保険会社について現在どのような点を評価していますか。次の中からいくつでも選んでお答えください。

N:242

1	契約内容に関する情報がわかりやすい	36.4%
2	顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる	24.4%
3	生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる	8.7%
4	保険金や給付金が正確(確実)に支払われそう	24.8%
5	保険金や給付金の請求手続や契約内容の変更手続が簡単そう	10.7%
6	会社の様々な情報を積極的に開示している	4.5%
7	社員や営業職員、代理店への教育が行き届いている	4.5%
8	経営内容が健全である	10.7%
9	顧客の個人情報管理が行き届いている	3.3%
10	ホームページが充実している	5.8%
11	社会貢献活動に取り組んでいる	1.7%
12	付帯サービス(※)が充実している	0.8%
13	その他(具体的に: )	0.4%
14	この中に評価しているものはない	19.8%

(※) 付帯サービスとは、健康・医療に関する情報提供や人間ドックの優待、スポーツクラブ・レジャー施設の優待利用等のサービスを指す。



問3 [かんぽ生命の加入金額等]

**問1で「平成19(2007)年10月1日以降に、かんぽ生命の生命保険(個人年金保険を含む)に加入」と回答された方におうかがいします。**

(財形終身年金保険、財形住宅貯蓄保険、財形積立貯蓄保険は除いてお答えください。)

加入されていない場合は、問4へおすすみください。

- 3-1 あなたは、いくらぐらいかんぽ生命の生命保険に被保険者として加入されていますか。現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。  
(注) 死亡保険金が出ない保険にのみ加入されている場合は0を記入してください。

N:100

死亡保険金額  万円 479万円 不明 59.0%

- 3-2 あなたは、現時点において病気で入院された場合に、かんぽ生命の生命保険からお受け取りになれる入院保険金は、1日または1回につき、いくらになりますか。(日額タイプの場合は1日あたりの金額、一時金タイプの場合は1回あたりの金額をご記入ください。日額・一時金いずれのタイプにも加入されている場合には1日あたり金額と1回あたりの金額の両方についてご記入ください。)  
(注) 入院給付金が出ない保険にのみ加入されている場合は「0」を記入してください。

N:100 1日につき  円 6.1千円 不明 62.0%

または

N:4 1回につき  円 3.5万円 不明 0.0%

- 3-3 1年間に払い込まれるかんぽ生命の生命保険の掛金(保険料)は、いくらになりますか。  
(注) 「払込が完了している契約」や「一時払契約」の掛金は含めず、払込が発生していない契約のみに加入されている場合は0を記入してください。  
また、配当金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N:100 年間払込掛金総額  円 17.5万円 不明 65.0%

- 3-4 あなたが加入されているかんぽ生命の生命保険で、一番最近加入された保険の主な加入理由はどのようなことですか。  
下取り制度(変更増額制度)を利用して、新しい生命保険に加入されたものも含めてお考えください。

N:100

1	希望にあった生命保険だったので	17.0%	9	無診査だったので	1.0%
2	従来なかったような新しい生命保険だったので	4.0%	10	以前加入したことがあるので	4.0%
3	掛金が安かったので	8.0%	11	家族、友人、知人などにすすめられたので	7.0%
4	かんぽ生命の生命保険、年金保険は利回りがいいから	10.0%	12	郵便貯金(定額貯金など)が満期になったので	6.0%
5	加入後のサービスがよいと思ったので	1.0%	13	政府が間接的に株式保有しているので安心できそうだと思うから	1.0%
6	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人が親身になって説明してくれたので	10.0%	14	近くに他の生命保険会社、生協・こくみん共済coop(全労済)、JA(農協)が無く、これらの保険や共済に加入することができないから	2.0%
7	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人を知り合いだったので	6.0%	15	その他(具体的に: )	3.0%
8	以前から加入していた郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人にすすめられたので	4.0%			

不明 39.0%

問4 [簡易保険の加入金額等]

問1で「郵便局の簡易保険（年金保険を含む）に加入」と回答された方におうかがいします。

平成19（2007）年10月1日以降に加入したかんぽ生命は除いてお答えください。  
（財形終身年金保険、財形住宅貯蓄保険、財形積立貯蓄保険は除いてお答えください。）

加入されていない場合は、問5へおすすみください。

- 4-1 あなたは、いくらぐらい郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）に被保険者として加入されていますか。現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡保険金額はいくらになりますか。  
（注）死亡保険金が出ない保険にのみ加入されている場合は0を記入してください。

N:75

死亡保険金額  万円 381万円 不明 54.7%

- 4-2 あなたは、現時点において病気で入院された場合に、郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）からお受け取りになれる入院保険金は、1日につき、いくらになりますか。

（注）入院給付金が出ない保険にのみ加入されている場合は「0」を記入してください。

N:75

入院給付金の日額  円 7.8千円 不明 61.3%

- 4-3 1年間に払い込まれる郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）の掛金（保険料）は、いくらになりますか。

（注）「払込が完了している契約」や「一時払契約」の掛金は含めず、払込が発生していない契約のみに加入されている場合は0を記入してください。

また、配当金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N:75

年間払込掛金総額  円 15.0万円 不明 70.7%

問5 [JA（農協）の生命共済の加入金額等]

**問1「JA（農協）の生命共済（年金共済を含む）に加入」と回答された方におうかがいします。**

（財形貯蓄共済、財形給付金共済、財形住宅貯蓄共済は除いてお答えください。また、火災共済、自動車共済、建物更生共済などの損害共済も除いてください。）

加入されていない場合は問6へおすすみください。

5-1 あなたは、いくらぐらいJA（農協）の生命共済に被共済者（共済のかけられている方）として加入されていますか。

（注）本人が掛金を負担している団体定期生命共済を含めてお答えください。

現時点において、**病気で死亡**された場合、お受け取りになれる**死亡共済金額**はいくらになりますか。

（注）死亡共済金を年金で受け取る契約や特約に加入されている場合には、総受け取り金額（年金年額×受取年数）をお答えください。なおこの場合、老後等に支払われる通常の年金は含まれません。

（注）死亡共済金が出ない共済にのみ加入されている場合は0を記入してください。

N:68

死亡共済金額  万円 759万円 不明 33.8%

5-2 あなたは、**病気で入院**された場合にJA（農協）の生命共済からお受け取りになれる**入院共済金**は、1日または1回につき、いくらになりますか。（日額タイプの場合は1日あたりの金額、一時金タイプの場合は1回あたりの金額をご記入ください。日額・一時金いずれのタイプにも加入されている場合には1日あたり金額と1回あたりの金額の両方についてご記入ください。）

（注）ガン、生活習慣病等の特定の疾病だけを対象とした入院のみに限定して支払われる入院共済金は除いてお答えください。

（注）入院共済金が出ない保険にのみ加入されている場合は「0」を記入してください。

N:68 1日につき  円 6.1千円 不明 54.4%

または

N:10 1回につき  円 8.0万円 不明 0.0%

5-3 1年間に払い込まれるJA（農協）の生命共済の掛金は、いくらになりますか。

（注）「払込が完了している契約」「頭金制度」および「一時払契約」の掛金は金額に含めず、払込が発生していない契約のみに加入されている場合は0を記入してください。

また、割戻金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N:68

年間払込掛金総額  円 10.3万円 不明 38.2%

問6 [生協やこくみん共済 coop (全労済) の生命共済の加入金額等]

**問1 「生協の生命共済、こくみん共済 coop (全労済) の生命共済 (年金共済を含む) に加入」と回答された方におうかがいします。**

(交通災害共済、火災共済、自動車共済などの損害共済を除いてお答えください。)

加入されていない場合は問7へおすすみください。

6-1 あなたは、いくらぐらい生協の生命共済とこくみん共済 coop (全労済) の生命共済に被共済者(共済のかけられている方)として加入されていますか。

(注) 本人が掛金を負担しているこくみん共済 coop (全労済) の団体生命共済を含めてお答えください。

現時点において、病気で死亡された場合、お受け取りになれる死亡共済金額はいくらになりますか。

(注) 死亡共済金が出ない共済にのみ加入されている場合は0を記入してください。

N:233

死亡共済金額  万円 335万円 不明 33.0%

6-2 あなたは、病気で入院された場合に、生協の生命共済およびこくみん共済 coop (全労済) の生命共済からお受け取りになれる入院共済金は、1日または1回につき、いくらになりますか。(日額タイプの場合は1日あたりの金額、一時金タイプの場合は1回あたりの金額をご記入ください。日額・一時金いずれのタイプにも加入されている場合には1日あたり金額と1回あたりの金額の両方についてご記入ください。)

(注) ガン、生活習慣病等の特定の疾病だけを対象とした入院のみに限定して支払われる入院共済金は除いてお答えください。

(注) 入院共済金が出ない保険にのみ加入されている場合は「0」を記入してください。

N:233 1日につき  円 4.9千円 不明 20.6%

または

N:19 1回につき  円 3.3千円 不明 0.0%

6-3 生協の生命共済およびこくみん共済 coop (全労済) の生命共済を合わせた1年間に払い込まれる掛金は、いくらになりますか。

(注) 「払込が完了している契約」や「一時払契約」の掛金は含めず、払込が発生していない契約のみに加入されている場合は0を記入してください。

また、割戻金の分だけ掛金支払が少なくなる契約の場合は実際に支払った掛金でお答えください。

N:233

年間払込掛金総額  円 4.0万円 不明 15.0%

問1で民間の生命保険会社、かんぽ生命、郵便局、JA（農協）、生協、こくみん共済coop（全労済）のいずれかの生命保険（個人年金保険等を含む）に加入されている方におうかがいします。

問7 〔加入保障内容に対する考え方〕

7-1 あなたの将来の生活設計をお考えになった場合、現在、加入されている保障内容で十分ですか、それとも、不十分ですか。

N:1,003

1 十分 24.5%	2 ほぼ十分 45.5%	3 やや不十分 14.9%	4 不十分 7.4%
------------------	--------------------	---------------------	------------------

7-2 あなたは、現在、支払っている生命保険（民間の生命保険会社の生命保険、かんぽ生命の生命保険、郵便局の簡易保険、JA（農協）の生命共済、生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済）の掛金を含めて、1年間に最大いくらいまで掛金を支出できるとお考えですか。個人年金保険（民間の生命保険会社の個人年金保険、かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、JA（農協）の年金共済、こくみん共済coop（全労済）の年金共済）の掛金を含めてお答えください。

（注）一時払契約の掛金は除いてお答えください。

N:1,003

1年間に最大

万円までは支出できる

16.7万円  
不明 13.1%

全員の方におうかがいします。

問8 〔個人年金の加入状況〕

ここでは、個人年金の加入状況についておうかがいします。

厚生年金や国民年金などの公的年金、企業年金、財形年金は除いてお考えください。  
なお、現在、受け取っている個人年金がありましたら、それを含めてお答えください。

N:2,200

8-1 あなたは、個人年金に加入されていますか。また、加入されているとすれば、次の中のどれですか。

- |   |   |       |
|---|---|-------|
| 1 | 民間の生命保険会社の個人年金保険（定額）（かんぽ生命を除く）<br>（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む） | 12.3% |
| 2 | 民間の生命保険会社の変額個人年金保険（郵便局・銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）             | 2.9%  |
| 3 | かんぽ生命の個人年金保険（定額）（郵便局の窓口で加入した商品も含む）                      | 2.4%  |
| 4 | 郵便局（簡易保険）の年金保険（平成19年9月以前に加入）                            | 1.6%  |
| 5 | JA（農協）の年金共済（年金型の貯蓄を除く）                                  | 1.5%  |
| 6 | こくみん共済coop（全労済）の年金共済                                    | 1.0%  |
| 7 | 損害保険会社の個人年金（年金払積立傷害保険など）                                | 0.5%  |
| 8 | その他（具体的に：   | 0.5%  |
| 9 | 個人年金には加入していない   | 81.1% |

7~9 だけに○をつけられた方は問9へおすすみください

（8-1で「民間の生命保険会社の個人年金保険」～「こくみん共済coop（全労済）の年金共済」のいずれかを選んだ方におうかがいします。）

8-2 あなたが加入されている民間の生命保険会社の個人年金保険、かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、JA（農協）の年金共済、こくみん共済coop（全労済）の年金共済の年金受取開始時における1年間に受け取れる年金の年額（配当金・割戻金によるものは除く）はいくらになりますか。年金額の合計をお答えください。ただし、変額個人年金保険は除いてお答えください。

N:397

基本年金年額

万円 121.6万円

8-3 個人年金保険（変額個人年金保険を含む）、年金保険、年金共済の掛金の払込方法は、加入時に掛金を全額支払う「一時払」でしたか、掛金を月・半年・年ごとに支払う方法ですか、それとも「月・半年・年ごとの支払いは完了」していますか。

N:397

1 一時払にした 33.5%	2 月・半年・年ごとに支払っている 43.8%	3 月・半年・年ごとの支払いは完了した 25.4%
----------------------	-------------------------------	---------------------------------

付問1 1年間に払い込む掛金はいくらになりますか。

N:174		円	15.9万円	不明	4.6%
-------	--	---	--------	----	------

付問2 一時払をした掛金はいくらでしたか。複数件加入されている場合は合計金額をお答えください。

N:133		万円	427.5万円	不明	24.1%
-------	--	----	---------	----	-------

8-4 個人年金保険（変額個人年金保険を含む）、年金保険、年金共済の受け取りが開始される年齢は何歳ですか。すでに受け取りが開始されたものも含めてお答えください。また、2件以上加入されている場合はそれぞれの年齢をお答えください。

N:397

59歳以下	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳以上
1	2	3	4	5	6
15.9%	34.3%	6.8%	29.7%	4.5%	15.1%

8-5 個人年金保険（変額個人年金保険を含む）、年金保険、年金共済の年金の受け取り期間は何年ですか。2件以上加入されている場合はそれぞれの受け取り期間をお答えください。

N:397

5年間	10年間	15年間	終身 (生涯)	その他
1	2	3	4	5
15.1%	42.8%	11.8%	28.0%	6.3%

**全員の方におうかがいします。**

問9 [生活保障の準備状況と今後の意向]

- 9-1 (1)あなたは、以下にあげられるような生活保障の準備のうち、現在準備をしているものがありますか。  
 生命保険や損害保険、預貯金、有価証券など自助努力で準備しているものについてお答えください。  
 N:2, 200 (2)また、今後数年間のうちに準備している金額を増やしたいもの、減らしたいものがありますか。

	(1) 現在準備し ているもの	(2)-1 今後数年間 のうちに、 増やしたい もの	(2)-2 今後数年間 のうちに、 減らしたい もの
自分が万一の場合の資金準備	1 32.7%	1 18.3%	1 1.0%
自分が病気やケガの治療や入院した場合の医療費の準備	2 27.0%	2 12.4%	2 1.7%
自分が老後の生活資金の準備	3 27.0%	3 19.3%	3 1.6%
自分が要介護状態となった場合の介護資金の準備	4 15.1%	4 11.3%	4 1.2%
自分が病気やケガのため長期間働くことができなくなった場合の生活資金の準備	5 16.8%	5 11.2%	5 1.4%
その他(具体的に: )	6 0.2%	6 0.1%	6 0.0%
特にない	7 56.0%	7 67.3%	7 94.4%

**全員の方におうかがいします。**

問10 [生活保障に対する考え方]

- 10-1 もし現在、あなたご自身に万一のことがあった場合のことについておうかがいします。  
 10-1-1 (1) その後の遺族の生活資金をまかなうために、どのくらいのお金が必要とお考えですか。1年間にいくらのお金が必要で、何年分あれば大丈夫とお答えください。

N:2, 200

1年間に  万円必要で  年分あれば大丈夫  
 248.7万円 不明 55.8%      15.1年分 不明 0.0%

- 10-1-2 (2) その後の遺族の生活資金準備は現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになっていますか。

N:2, 200

1	2	3	4
大丈夫	たぶん大丈夫	少し不安である	非常に不安である
6.0%	11.1%	13.1%	14.0%

遺族はいない 55.8%

- 10-1-(3) あなたが現在準備されているもののうち、遺族の生活資金準備として、どのようなものに期待されていますか。  
 公的保障（厚生年金、国民年金の遺族年金など）や企業保障（勤務先からの退職金、弔慰金など）以外のものをお考えください。

N:2,200

	現在、遺族の生活資金準備として期待しているもの	
生命保険（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、JA（農協）の生命共済、生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済）	1	8.8%
預貯金、貸付信託、金銭信託	2	15.2%
有価証券（株式、公社債、金融債、投資信託など）	3	8.2%
財形貯蓄	4	3.1%
不動産	5	3.1%
損害保険会社の傷害保険	6	1.4%
市町村などの交通災害共済（保険）	7	0.6%
その他（具体的に： ）	8	0.2%
期待しているものはない	9	21.6%
遺族はいない		55.8%

- 10-2 あなたが、もし現在、病気や交通事故などで2～3カ月入院した場合、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえのことについておうかがいします。

- 10-2-(1) あなたが入院した場合、1カ月につきいくらぐらい、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえが必要とお考えですか。

N:2,200

1 カ月につき

万円 20.2万円

- 10-2-(2) あなたが入院した場合、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえは現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。

N:2,200

1	2	3	4
大丈夫 13.8%	たぶん大丈夫 29.0%	少し不安である 27.9%	非常に不安である 29.4%

- 10-2-(3) 現在準備されているもののうち、あなたが入院した場合、健康保険診療の範囲外の費用に対する経済的そなえとして、どのようなものに期待されていますか。

N:2,200

	現在、入院した場合のそなえとして期待しているもの	
災害や疾病などで入院したときに、給付金が受け取れる生命保険や特約（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、JA（農協）の生命共済、生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済）	1	23.5%
預貯金、貸付信託、金銭信託	2	38.1%
損害保険会社の傷害保険、所得補償保険など	3	5.9%
有価証券（株式、公社債、金融債、投資信託など）	4	12.9%
財形貯蓄	5	3.5%
市町村などの交通災害共済（保険）	6	2.0%
その他（具体的に： ）	7	0.7%
期待しているものはない	8	45.3%



10-3 老後生活資金のことについておうかがいします。

10-3-(1) 公的年金（厚生年金、国民年金など）以外にあなたの老後生活資金として月々いくらかぐらい必要とお考えですか。現在のお金の価値を基準にお答えください。

\*公的年金の支給開始年齢は生年月日によって異なっており、今後60歳から65歳に徐々に引き上げられていきます。60～64歳の間と65歳以降では年金額が異なる場合がありますのでそれぞれについてお答えください。  
60～64歳の途中で支給が開始される場合は5年間のおおよその平均をお考えください。

(あなたが65歳以上の場合は②のみお答えください)

①あなたが60～64歳の間の必要額

N:2,200

公的年金以外に月々約

万円必要

13.7万円

不明 1.8%

②あなたが65歳以降の必要額

N:2,200

公的年金以外に月々約

万円必要

13.4万円

不明 1.8%

10-3-(2) あなたは、老後の生活資金をまかなうための資金準備は現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。

N:2,200

1	2	3	4
大丈夫	たぶん大丈夫	少し不安である	非常に不安である
11.1%	23.4%	28.0%	37.5%

10-3-(3) 現在準備されているもののうち、あなたは、老後の生活資金準備として、どのようなものに期待されていますか。

公的保障（厚生年金、国民年金など）や企業保障（勤務先からの退職金、企業年金など）以外のものをお答えください。

N:2,200

	現在、老後の生活資金準備として期待しているもの	
個人年金保険（民間の個人年金保険（定額）や変額個人年金保険、かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、JA（農協）の年金共済、こくみん共済 coop（全労済）の年金共済）	1	15.4%
生命保険（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、JA（農協）の生命共済、生協やこくみん共済 coop（全労済）の生命共済）	2	10.0%
損害保険会社の年金払積立傷害保険	3	1.8%
預貯金、貸付信託、金銭信託	4	33.8%
有価証券（株式、公社債、金融債、投資信託など）	5	16.3%
財形貯蓄（財形年金を含む）	6	2.8%
NISA（少額投資非課税制度）	7	11.9%
つみたてNISA（積立投資専用の少額投資非課税制度）	8	12.6%
iDeCo（個人型確定拠出年金）	9	6.1%
不動産	10	4.6%
その他（具体的に： )	11	0.6%
期待しているものはない	12	47.0%

10-4 あなたが要介護状態（寝たきりや認知症など）となった場合の、公的介護保険の範囲外の費用に対する経済的そなえのことについておうかがいします。

(注) 公的介護保険制度は原則65歳以上を対象とし、介護が必要とされる方にサービスを提供するものです。受けられるサービスの内容や自己負担額（1割負担となります）は認定される要介護度によって異なります。

10-4-(1) あなたが要介護状態となった場合、公的介護保険の範囲外の費用として、どのくらいの金額を準備しておけば安心だとお考えですか。

・住宅改造や介護用品購入などの初期費用はいくらぐらいとお考えですか。

N:2,200  万円 169.1万円

・月々の介護費用はいくらぐらいで、どれくらいの期間必要とお考えですか。

N:2,200 月々  万円で  年  カ月分  
13.4万円 10.0年 8.9カ月

10-4-(2) あなたが要介護状態となった場合の、公的介護保険の範囲外の費用に対する経済的そなえは現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。

N:2,200

1	2	3	4
大丈夫	たぶん大丈夫	少し不安である	非常に不安である
10.3%	20.7%	27.6%	41.4%

10-4-(3) 現在準備されているもののうち、あなたが要介護状態となった場合の、公的介護保険の範囲外の費用に対する経済的そなえとして、どのようなものに期待されていますか。

N:2,200

	現在、要介護状態となった場合のそなえとして期待しているもの	
所定の要介護状態となったときに、年金や一時金等が受け取れる介護保険や介護特約（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、JA（農協）の生命共済、生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済）	1	10.9%
介護保険や介護特約以外の生命保険（民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、JA（農協）の生命共済、生協やこくみん共済coop（全労済）の生命共済）	2	7.1%
個人年金保険（民間の個人年金保険（定額）や変額個人年金保険、かんぽ生命の個人年金保険、郵便局の年金保険、JA（農協）の年金共済、こくみん共済coop（全労済）の年金共済）	3	7.2%
損害保険会社の介護費用保険	4	1.9%
損害保険会社の年金払積立傷害保険	5	0.7%
預貯金、貸付信託、金銭信託	6	26.9%
有価証券（株式、公社債、金融債、投資信託など）	7	13.4%
財形貯蓄（財形年金を含む）	8	1.9%
NISA（少額投資非課税制度）	9	9.5%
つみたてNISA（積立投資専用の少額投資非課税制度）	10	8.9%
iDeCo（個人型確定拠出年金）	11	4.4%
不動産	12	4.2%
その他（具体的に： )	13	0.4%
期待しているものはない	14	55.6%

10-5 あなたが、もし現在、病気やケガなどによる長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合の経済的そなえのことについておうかがいします。  
(無職の場合は、問11(20ページ)へおすすみください)

10-5-(1) あなたが長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合、教育費や住宅ローンの支払いなどを考慮して1カ月につきいくらぐらい、生活資金が必要とお考えですか。

N:1,633      1カ月につき      万円      18.0万円

10-5-(2) あなたが長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合のそなえは現在のそなえで大丈夫とお考えですか、それとも不安をお感じになりますか。

N:1,633

1	2	3	4
大丈夫	たぶん大丈夫	少し不安である	非常に不安である
11.3%	19.9%	28.8%	40.0%

10-5-(3) 現在準備されているもののうち、あなたが長期間の入院や療養などのため、収入がとだえたり、大幅に減少した場合の経済的そなえとして、どのようなものに期待されていますか。  
公的保障(障害年金や傷病手当金など)以外のものをお答えください。

N:1,633

	現在、収入がとだえた場合のそなえとして期待しているもの	
生命保険会社の生活障害・就業不能保障保険 <sup>※1</sup>	1	9.7%
損害保険会社の所得補償保険 <sup>※2</sup>	2	3.6%
災害や疾病などで入院したときに、給付金が受け取れる生命保険や特約(民間の生命保険、かんぽ生命の生命保険、簡易保険、JA(農協)の生命共済、生協やこくみん共済coop(全労済)の生命共済)	3	9.1%
生命保険(上記以外の生命保険)	4	5.9%
損害保険会社の傷害保険、医療保険	5	3.9%
預貯金、貸付信託、金銭信託	6	31.1%
有価証券(株式、公社債、金融債、投資信託など)	7	14.0%
財形貯蓄	8	3.4%
不動産	9	3.4%
その他(具体的に: )	10	0.5%
期待しているものはない	11	52.6%

※1 病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れるもの。

※2 ケガや病気によって就業不能となった場合の所得の喪失を補償するもの。

10-6 10-1から10-5の(無職の方は10-4)(1)でそれぞれお答えいただいた必要額(経済的そなえ)について、これまでに試算(シミュレーション)をしたことはありますか。いずれか1つでもあれば「1 ある」をお選びください。

N:2,200

1	2
ある	ない
11.2%	88.8%

# 全員の方におうかがいします。

問11 [今後の生命保険の加入について]

11-1 あなたは、今後、生命保険（個人年金保険を含む）に加入したい（追加加入したい）というお考えがありますか。

N:2,200

1 近く加入したい 3.0%	2 余裕が出来たら 加入したい 30.3%	3 その考えは全くない 66.7%
----------------------	--------------------------------	-------------------------

11-2へおすすみください

(11-1で「その考えは全くない」を選んだ方におうかがいします。)

付問 生命保険に加入（追加加入）されるお考えがないのは、どうしてですか。

N:1,468

1	経済的な余裕がないので	37.3%
2	生命保険の必要性をあまり感じていないので	23.2%
3	健康上の理由や年齢制限のため加入できないので	5.9%
4	ほかの貯蓄方法のほうが有利だと思うので	12.5%
5	厚生年金など国の社会保障を期待している	2.5%
6	退職金や企業年金など会社の保障を期待している	0.8%
7	期間が長すぎるので	1.8%
8	インフレに弱いから	2.5%
9	生命保険や営業職員が嫌いなので	2.9%
10	生命保険にはもう充分、加入している	10.5%
11	生命保険についてよくわからない	3.4%
12	その他（具体的に： )	2.5%
13	とくに理由はない	24.6%

問12へおすすみください

11-2 今後、あなたが生命保険に加入されるとしたら、どのような種類の生命保険に加入されるのが良いとお考えですか。（いくつでも）

N:732

1	病気や災害、事故による万一の場合の保障に重点をおいたもの	52.2%
2	病気やケガの治療や入院にそなえるもの	52.6%
3	保障と貯蓄をかねたもの	39.1%
4	老後の生活資金の準備に重点をおいたもの	32.0%
5	子どもの教育資金や結婚資金の準備に重点をおいたもの	6.8%
6	貯蓄に重点をおいたもの	18.0%
7	介護費用の準備に重点をおいたもの	16.9%
8	認知症の発症時の費用の準備に重点をおいたもの	15.2%
9	病気やケガのため長期間働くことができなくなったときの生活保障に重点をおいたもの	24.0%
10	健康増進に役立つもの	10.0%
11	先進医療を受けられるもの	17.2%
12	その他（具体的に： )	0.4%

付問1 そのうち最も重視されるものはどれですか。付問1で○をつけられたものの中から選んで番号を1つ記入してください。

N:732

1 :	24.0%	2 :	22.8%	3 :	15.8%	4 :	11.7%
5 :	1.0%	6 :	4.8%	7 :	3.1%	8 :	1.8%
9 :	6.1%	10 :	2.2%	11 :	6.3%	12 :	0.3%

全員の方におうかがいします。

問12 [民間の生命保険の解約、失効について]

12-1 あなたは、令和3(2021)年から今までの3年間に、**途中でおやめになった民間の生命保険会社の生命保険**(個人年金保険を含む)がありますか。平成19年10月1日以降に加入したかんぽ生命を除いてお答えください。

また、あったとすれば何件、途中でおやめになっていますか。

(注) 将来の掛金の払込を中止して契約を続ける払済保険、延長定期保険、下取り(転換)した生命保険、特約のみの解約や保険金額の減額など保障内容は見直しても契約を続けている場合は含めないでください。

N:2,200

1	2	3	4
1 件	2 件	3件以上	3年間にやめた民間の生命保険会社の生命保険はない
7.1%	2.4%	0.3%	90.1%

問13へ  
おすすめください

12-2 そのおやめになった生命保険は、何カ月あるいは何年つづけられましたか。  
2件以上、おやめになった生命保険がある場合には、一番最近おやめになった生命保険についてお答えください。

N:217

年と

カ月

不明 1.8%

7年4カ月(88.2カ月)

12-3 そのおやめになった生命保険は主としてどういう目的で加入されたものでしたか。

N:217

1 万一のときの家族の生活保障のため	31.8%	8 子どもの教育、結婚資金のため	0.5%
2 万一のときの葬式代のため	14.7%	9 相続および相続税の支払を考えて	2.3%
3 医療費や入院費のため	40.1%	10 財産づくりのため	5.1%
4 万一のときのローンや債務の返済のため	4.1%	11 土地、家屋の取得、増改築のため	1.8%
5 災害、交通事故などにそなえて	8.3%	12 貯蓄のため	7.4%
6 老後の生活資金のため	13.8%	13 税金が安くなるので	6.0%
7 介護費用のため	5.1%	14 その他(具体的に: )	2.8%

12-4 そのおやめになった生命保険でお受け取りになった解約返戻金(払戻金)は、その後どのようにお使いになりましたか。

N:217

1 他の生命保険の掛金にあてた	24.4%	5 自動車や家電製品等耐久消費財の購入にあてた	7.4%
2 預貯金に預け替えた	22.6%	6 住宅ローン等のローンの返済にあてた	2.8%
3 損害保険商品や株式、投資信託、公社債等に預け替えた	11.1%	7 現金で保有した	9.7%
4 生活費にあてた	23.0%	8 その他(具体的に: )	1.4%
		9 解約返戻金(払戻金)はなかった	22.1%

12-5 どうして、その生命保険を途中で、おやめになったのですか。

N:217

1	掛金を支払う余裕がなくなったから	33.2%	} → 問13へおすすめ ください
2	掛金が更新により高くなってしまったから	14.7%	
3	生命保険はインフレに対応できないと考えて	9.2%	
4	まとまったお金が必要となって	11.5%	
5	期間が長すぎるのでいやになった	11.1%	
6	義理で入ったものなので	7.4%	
7	高額な保障が必要なくなったから	4.6%	
8	少額すぎて生命保険として役に立たないので	5.1%	
9	他の生命保険に切り替えたので	9.7%	
10	イメージしていた商品内容と異なるため	1.4%	} → 問13へおすすめ ください
11	他に有利な貯蓄手段があったので	6.0%	
12	加入後のアフターサービスが不満だったので	4.1%	
13	離婚や子どもの独立など家族の構成が変わったから	2.8%	
14	経営内容が不安だったので	5.5%	
15	その他 (具体的に: )	7.8%	

N:21

(12-5で「他の生命保険に切り替えたので」とお答えの方におうかがいします。)

付問1	切り替えたのは、どのような理由からですか。	
1	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから	61.9%
2	保障の範囲が広がったから	14.3%
3	掛金が安かったから	33.3%
4	配当金が多そうだったから	4.8%
5	加入者へのサービスが良さそうだったから	14.3%
6	会社 (生命保険会社・郵便局・JA (農協) 等) の経営内容が良かったから	4.8%
7	営業職員や代理店の人が熱心だったから	4.8%
8	営業職員や代理店の人の説明が優れていたから	4.8%
9	営業職員や代理店の人が縁故者・知人だったから	4.8%
10	仕事上のつきあいや取引で頼まれたから	0.0%
11	その他 (具体的に: )	4.8%

## 全員の方におうかがいします。

### 問13 [今後の生命保険の加入先について]

13-1 今後、仮に生命保険や個人年金保険に加入されるとしたら、どちらから加入したいとお考えですか。  
N:2,200

1	家庭に来る生命保険会社の営業職員	9.3%
2	職場に来る生命保険会社の営業職員	3.6%
3	通信販売（インターネットを通じて）	33.6%
4	通信販売（テレビ・新聞・雑誌などを通じて）	1.5%
5	生命保険会社の窓口	8.6%
6	郵便局の窓口や営業職員	3.3%
7	都市銀行の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	1.9%
8	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	2.5%
9	信託銀行の窓口や銀行員	0.8%
10	証券会社の窓口や営業職員	1.1%
11	保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口	5.5%
12	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	4.3%
13	勤め先や労働組合等を通じて	18.1%
14	その他（具体的に：_____）	5.8%

13-2 あなたが今後、生命保険や個人年金保険に加入されるとしたら、どのような方法で加入したいと思いますか。この中から1つだけお答えください。  
N:2,200

1	家庭に来る生命保険会社の営業職員	26.9%
2	職場に来る生命保険会社の営業職員	3.0%
3	通信販売（インターネットを通じて）	35.3%
4	通信販売（テレビ・新聞・雑誌などを通じて）	34.8%

### 問14 [生命保険に関する知識について]

14-1 あなたが今後、仮に生命保険や個人年金保険に加入される場合に、必要と考えられる知識の中で、不足していると思われるものは何ですか。次の中からいくつでも選んでお答えください。  
N:2,200

1	生命保険や個人年金保険の仕組み	26.2%
2	どういった保障が必要なのか	32.3%
3	どこの会社から加入したらいいのか	16.9%
4	加入金額がどのくらい必要なのか	27.7%
5	家族の中で誰が優先して加入したらいいのか	4.0%
6	いつ加入したらいいのか	11.2%
7	保障がいつまで必要なのか	24.3%
8	その他（具体的に：_____）	0.5%
9	特に不足しているものはない	42.4%

14-2 それでは、金融や保険に関する知識をどの程度お持ちですか。この中からあてはまるものをそれぞれ1つお選びください。

N:2,200

- |        |       |           |          |           |       |
|--------|-------|-----------|----------|-----------|-------|
| (ア)    | (イ)   | (ウ)       | (エ)      | (オ)       |       |
| かなり詳しい | 少し詳しい | どちらともいえない | あまり詳しくない | まったく詳しくない | わからない |

(1) 金融について	1	2	3	4	5	6
	3.2	11.0	23.1	19.6	26.1	17.0
(2) 保険について	1	2	3	4	5	6
	2.0	7.0	22.1	22.1	29.4	17.4

14-3 ここに挙げられている生命保険や金融に関する説明は正しいと思いますか。それとも誤りだと思いますか。

N:2,200

- |     |     |       |
|-----|-----|-------|
| (ア) | (イ) |       |
| 正しい | 誤り  | わからない |
| ↓   | ↓   | ↓     |

(1) 生命保険の保険料は、同じ年齢で比較すると、男女間に差異はない	1	2	3
	13.2%	46.2%	40.6%
(2) 定期保険は満期時に満期保険金を受け取れる	1	2	3
	32.9%	19.1%	48.0%
(3) ガン保険加入後、一定期間内はガンにかかっても保険金は支払われない	1	2	3
	27.5%	21.3%	51.2%
(4) 一般的に、1社の株式だけに投資する方が、多くの会社の株式に分散投資するよりも投資収益は安定する	1	2	3
	9.7%	43.8%	46.5%
(5) お金を預ける場合、金利が下降傾向にあるときは固定金利の商品が望ましい	1	2	3
	29.5%	20.4%	50.2%
(6) 一般に、利子率が上昇すると債券価格も上昇する	1	2	3
	20.5%	22.0%	57.5%

問15 [生活満足度について]

15-1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。『全く満足していない』を0点、『非常に満足している』を10点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれか1つだけ選んでください。

N:2,200

全く満足していない	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	非常に満足している
	7.7%	4.6%	6.6%	9.6%	7.5%	24.7%	10.9%	11.8%	10.4%	3.8%	2.4%	



問16 [生命保険料控除と加入・継続意向について]

16-1 生活保障（万一の際や、病気・ケガや介護、老後の経済的備え）に関する次のような考え方について、あなたはA・Bどちらの考え方に近いですか。1～4の中から1つお選びください。

A：生活保障は、公的保障（公的年金等）だけで充分だと思っている  
 B：生活保障は、公的保障と自助努力による私的保障（生命保険、個人年金等）の両方で準備していく必要がある

N:2,200

1	2	3	4
Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い
5.3%	19.0%	44.2%	31.5%

16-2へおすすめください

（16-1で「どちらかといえばBに近い」か「Bに近い」を選んだ方におうかがいします。）

付問 公的保障と私的保障の両方で生活保障を準備するための考え方として、A・Bどちらの考え方に近いですか。

N:1,665

- A：自助努力のための支援を充実して欲しい  
 B：今よりも高い社会保険料や税金を払ってもよいので、公的保障を充実して欲しい

1	2	3	4
Aに近い	どちらかといえばAに近い	どちらかといえばBに近い	Bに近い
18.1%	43.4%	31.9%	6.7%

16-2-（1） 現在、生命保険料控除については、遺族保障などの自助努力を支援する「一般生命保険料控除制度」、介護医療保障などの自助努力を支援する「介護医療保険料控除制度」、老後保障の自助努力を支援する「個人年金保険料控除制度」の3種類がありますが、このことについてご存知でしたか。

N:2,200

1	知っている	20.5%
2	知らなかった	79.5%

16-2-（2） 仮に生命保険料控除制度が拡充された場合、あなたは今後の保険への加入（追加加入）についてどのようにお考えですか。

N:2,200

1	新たに保険に加入したり、現在加入している保険を見直し、より充実した保障内容にする	5.2%
2	新たに保険に加入したり、現在加入している保険を見直し、より充実した保障内容にすることを検討しようと思う	11.3%
3	将来、保険の保障内容を充実させる際の励みになると思う	18.8%
4	なんとも思わない	64.6%

16-3 「一般生命保険料控除制度」、「介護医療保険料控除制度」、「個人年金保険料控除制度」が、仮に縮小・廃止された場合、あなたは現在加入されている保険についてどのようにお考えですか。

N:2,200

1	現在加入している保険に関して解約あるいは減額をする	4.9%
2	現在加入している保険に関して解約あるいは減額を検討しようと思う	8.5%
3	現在加入している保険を続けていけるかどうか不安に思う	19.7%
4	なんとも思わない	67.0%

問17 [死亡保険金の相続税非課税措置と加入・継続意向について]

17-1-(1) 残された家族の生活資金確保等のためにお受取りになった死亡保険金の額のうち「すべての法定相続人数×500万円」に相当する金額については、相続税が非課税とされていますが、このことについてご存じでしたか。

N:2,200

1 知っている	24.2%
2 知らなかった	75.8%

17-1-(2) 死亡保険金の相続税非課税措置が仮に拡充された場合、あなたは今後の生命保険への加入（追加加入）についてどのようにお考えですか。

N:2,200

1 新たに生命保険に加入したり、現在加入している生命保険を見直し、より充実した保障内容にする	4.5%
2 新たに生命保険に加入したり、現在加入している生命保険を見直し、より充実した保障内容にすることを検討しようと思う	8.5%
3 将来、生命保険の保障内容を充実させる際の励みになると思う	14.7%
4 なんとも思わない	72.3%

17-2 死亡保険金の相続税非課税措置が、仮に縮小・廃止された場合、あなたは現在加入されている生命保険についてどのようにお考えですか。

N:2,200

1 現在加入している生命保険に関して解約あるいは減額をする	4.0%
2 現在加入している生命保険に関して解約あるいは減額を検討しようと思う	7.5%
3 現在加入している生命保険を続けていくべきか不安に思う	16.2%
4 なんとも思わない	72.3%

問18 [民保とかんぽ生命に対する加入意向、選好理由]

18-1 あなたが今後、生命保険の加入を検討するとした場合、どちらが好ましいとお考えですか。

N:2,200

1	民間の生命保険会社(かんぽ生命を除く)を好む	14.8%
2	どちらかといえば民間の生命保険会社(かんぽ生命を除く)を好む	12.4%
3	どちらかといえば、かんぽ生命を好む	7.9%
4	かんぽ生命を好む	3.0%
5	どちらともいえない	62.0% → 問19へおすすみください

<かんぽ生命について> (前提)

- ・平成19(2007)年10月にかんぽ生命は民営化・株式会社化されました。
- ・民営化前の簡易保険契約とは異なり、かんぽ生命の保険契約の保険金等の支払に関する政府保証はなくなり、他の生命保険会社の保険契約と同様、生命保険契約者保護により保護されることとなりました。
- ・平成27(2015)年11月には株式上場を果たしたものの、かんぽ生命の約半数の株式は、現時点(令和6(2024)年4月)においても政府が約1/3の株式を保有する日本郵政により保有しています。
- ・従来の郵政民営化法では、政府はかんぽ生命の株式につき「10年以内に完全売却する」旨が記載されていましたが、平成24(2012)年5月公布の改正郵政民営化法では、政府はかんぽ生命の株式につき「できる限り早期に処分する」旨の記載に改正されております。

付問 それほどの理由によりますか。あてはまるものを次の中からいくつでも選んでお答えください。

N:2,200

1	商品やサービスが良いから	10.6%	8	規模が大きいから	6.0%
2	価格が手頃だから	13.5%	9	店舗が近くにあり、便利だから	4.2%
3	信頼できるから	12.7%	10	広告をよく見かけるから	2.0%
4	営業職員・窓口の対応がよいから	4.2%	11	以前加入したことがあるから	3.8%
5	営業職員・窓口で親戚、知人がいるから	2.1%	12	運用成績が良いから	2.6%
6	健全な経営をしているから	4.4%	13	政府が間接的に株式保有しているの	2.4%
7	いざという時に政府の関与が期待でき	2.5%		で安心できそうだと思うから	1.2%
	うだと思うから		14	その他(具体的に:	62.0%

問19 [介護経験の有無・介護の実態]

19-1 あなたは、過去3年間に、高齢で要介護状態(寝たきりや認知症など)になったご家族やご親族の方の介護をされましたか。在宅介護、施設介護のいずれの場合についてもお答えください。(2名以上の方の介護を行った場合は、最近の方についてお答えください。また現在2名以上の方の介護を行っている場合は、介護期間が長い方についてお答えください。)

N:2,200

1	配偶者の介護を行っている(行った)	1.2%
2	自分の親の介護を行っている(行った)	5.4%
3	配偶者の親の介護を行っている(行った)	0.8%
4	1~3以外の親族などの介護を行っている(行った)	2.0%
5	過去3年間に家族や親族の介護をしていない	90.5% → F1へおすすみください

(19-1で「配偶者の介護を行っている(行った)」~「上記以外の親族などの介護を行っている(行った)」のいずれかを選んだ方におうかがいします)

付問1 その方の介護を始めてからの期間はどのくらいですか。(どのくらいでしたか。)(現在介護を行っている方は、介護を始めてからの経過期間をお答えください。)

N:208

約  年  カ月  
4年1カ月(48.7カ月)

付問2 その方の介護を主にどこで行っていますか。(行っていましたか。)この中から1つだけお答えください。

N:208

1	自分の家(自宅)	37.5%	4	民間の有料老人ホームや介護サービス付き住宅など	19.2%
2	親や親族の家	28.4%	5	病院	4.3%
3	国や県などの公的な介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)や介護老人保健施設など	10.1%	6	その他(具体的に: )	0.5%

付問3 その方は公的介護保険のサービスを利用していますか。(利用しましたか。)利用している(利用した)場合は直近の(最後の)要介護認定時の要介護度をお答えください。

N:208

1	要支援1	11.5%	5	要介護3	14.9%
2	要支援2	8.7%	6	要介護4	12.5%
3	要介護1	8.7%	7	要介護5	15.9%
4	要介護2	13.0%	8	公的介護保険のサービスは利用していない(利用しなかった)	14.9%

付問4 その方の介護費用(公的介護保険サービスの自己負担費用を含む)はおよそいくらぐらいですか。(いくらぐらいでしたか。)一時的に掛かった費用と月々支払っている(支払っていた)費用それぞれについてお答えください。

N:208

- ・住宅改造や介護用ベッドの購入など一時的に掛かった費用のこれまでの合計額

万円 115.0万円 不明 0.1%

N:208

- ・月々支払っている(支払っていた)介護費用

月々  円 6.7万円 不明 0.0%

\*介護が終了している場合は終了した時点での金額をお答えください。

## 全員の方におうかがいします。

次にこの調査を統計的に分析するために、あなたやご家族のことについてお聞かせください。

F1 あなたの性別をお知らせください。

N:2,200

1	2
男性	女性
55.8%	44.2%

F2 あなたの生年月日はいつですか。

N:2,200

西暦  年  月  
49.2歳

F 3-1 あなたの職業をお知らせください。(該当する箇所の番号に○をおつけください。)

N:2,200

自 営 者	1	農林漁業の自営者・家族従業者	0.6%
	2	商工サービス業の自営者 (法人組織の経営者)	1.3%
	3	商工サービス業の自営者 (個人事業の経営者)	4.6%
	4	商工サービス業の家族従業者	0.3%
	5	自由業 (医学、法律、宗教、芸術、教育などの分野の自営者)	3.1%
常 雇 被 用 者	6	管理職 (企業や官庁で課長以上、校長、消防署長、病院長など)	3.9%
	7	専門職 (大学教授、教員、判事、病院勤めの医師など)	5.1%
	8	事務職 (事務系会社員、公務員、営業社員、技術社員、看護師、保育士など)	21.5%
	9	労務職 (工員、運転手、理・美容師、外勤の警察官など)	7.3%
派遣社員等	10	派遣社員、契約社員	7.9%
パート等	11	パート、アルバイト、臨時雇い等	11.5%
無 職	12	専業主婦、定年退職者等	25.8%
そ の 他	13	そ の 他	7.1%

F 3-2 (常雇被用者の方におうかがいします)

あなたは民間の会社にお勤めですか、それとも公務員ですか。

N:831

1	2	3
民間の会社	公 務 員	その他 (具体的に : )
90.6%	7.5%	1.9%

付問 お勤め先の従業員の方の人数は、会社全体で何人ぐらいですか。

N:753

1	2	3	4
1～99人	100～299人	300～999人	1,000人以上
32.5%	19.0%	17.4%	31.1%

F 4 あなたが最後に卒業・修了された学校はどちらですか。

N:2,200

1	小中学校	2.3%	4	大学	44.1%
2	高等学校	29.5%	5	大学院修士課程	5.3%
3	短期大学、高等専門学校、専門学校	17.4%	6	大学院博士課程	1.5%

F 5 あなたの昨年の年収は、およそどれぐらいですか。ボーナスや副収入を含めて税込でお知らせください。

N:2,200

1	100万円未満	18.6%	11	600万～	700万円未満	3.7%
2	100万～150万円未満	8.4%	12	700万～	800万円未満	2.4%
3	150万～200万円未満	10.0%	13	800万～	900万円未満	2.0%
4	200万～250万円未満	10.3%	14	900万～	1,000万円未満	1.1%
5	250万～300万円未満	8.7%	15	1,000万～1,200万円未満	0.9%	
6	300万～350万円未満	8.8%	16	1,200万～1,500万円未満	0.6%	
7	350万～400万円未満	7.0%	17	1,500万～2,000万円未満	0.3%	
8	400万～450万円未満	6.3%	18	2,000万～3,000万円未満	0.1%	
9	450万～500万円未満	3.9%	19	3,000万円以上	0.9%	
10	500万～600万円未満	6.0%				

F 6 あなたのお住まいについてお知らせください。

N:2,200

1	持家・ローン有	5.6%
2	持家・ローン無	29.2%
3	社宅、官舎（借り上げ社宅や代用社宅を含む）	3.6%
4	賃貸住宅（間借りを含む）	61.5%

（F 6で「持家・ローン有」か「持家・ローン無」を選んだ方におうかがいします）

付問1 年間の住宅ローン負担額、管理費などの総額はいくらくらいですか。

N:767

年間 約  万円 46.6万円

（F 6で「社宅、官舎（借り上げ社宅や代用社宅を含む）」か「賃貸住宅（間借りを含む）」を選んだ方におうかがいします）

付問2 年間の家賃や社宅等の自己負担の総額はいくらくらいですか。

N:1,433

年間 約  万円 59.1万円

F 7 あなたの預貯金や株式・公社債や保険などの金融資産を全て合計すると、どれくらいになりますか。およそで結構ですのでお知らせください。

（注1） 保険は、生命保険・損害保険ともに満期保険金のあるものまたは個人年金のみを対象にし、加入してからこれまでの払込掛金の総額としてください。

（注2） 株式は時価、公社債は額面金額としてください。

N:2,200

1	100万円未満	34.6%
2	100万～ 300万円未満	14.5%
3	300万～ 500万円未満	10.7%
4	500万～ 1,000万円未満	11.7%
5	1,000万～ 1,500万円未満	5.3%
6	1,500万～ 2,000万円未満	4.0%
7	2,000万～ 2,500万円未満	3.1%
8	2,500万～ 3,000万円未満	2.7%
9	3,000万～ 5,000万円未満	5.0%
10	5,000万円以上	8.3%

長い間、調査にご協力いただき、どうもありがとうございました。